

第1問 ショートメール・チラシの読み取り

▶ 出題のねらい

Aではショートメールのやり取りにおける発信者の意図や要求を読み取り，Bでは料理コンテストについてのチラシから必要な情報を探し出す。与えられた情報から解答を推測する力が求められる。

A

▶ 解説

問1 ① ②

「エリーはあなたに…を持ってくる必要があるかどうか尋ねている」

- ① 帽子
- ② 飲み物
- ③ タオル
- ④ Tシャツ

エリーは最初のメールで「飲み物は持っていっぱいがいい?」(第4文)と尋ねている。よって正解は②。

問2 ② ①

「明日，エリーが…ことをあなたは期待している」

- ① ホームにある店であなただを見つける
- ② あなたより早くパン屋に着く
- ③ 駅に着いたらあなたにメールする
- ④ ミナト駅の外であなただを待つ

あなたはメールで「3番ホームにあるパン屋で待ち合わせしよう。私のほうが早く着くようにするから，そこで待っているね」(第5・6文)と述べている。このことから，あなたはエリーが，ホームにあるパン屋にいる自分を見つけることを期待していることがわかる。よって正解は①。本文や選択肢で使用されている代名詞が，それぞれ誰を指しているか注意しながら読むことが必要である。

▶ 語句

(リード文)

plan to do「～する計画を立てる」

outdoor「野外の」

text message「ショートメール」

mobile phone「携帯電話」

(本文)

prepare for「～に備えて準備する」

pack「～を詰める」

waste「無駄」

must「必須のもの」

extra「余分な」

as well「～も」

bakery「パン屋」

platform「(駅の)ホーム」

wait for「～を待つ」

arrive「到着する」

text「～にメールする」

(設問)

expect O to do「Oが～することを期待する」

▶ 全文訳

あなたは友人のエリーと野外コンサートに行く計画を立てました。彼女はあなたの携帯電話にメールを送り，いくつかの質問をしています。

こんにちは！ 明日に向けて準備をしているところなんだけど，いくつか質問があるの。タオルと帽子はカバンに入れたよ。飲み物は持っていっぱいがいい？ 現地で買えるんだよね？
あと，ミナト駅の改札を出たところで待ち合わせするんだよね？

エリー，もちろん買えるけど，お店はとても混むよ。時間がもったいないよ。明日は暑くなるから，タオルは必須だね。私はTシャツも1枚余分に持っていくつもりだよ。3番ホームにあるパン屋で待ち合わせしよう。私のほうが早く着くようにするから，そこで待っているね。着いたらメールするよ。

わかった！ Tシャツも持っていくわ。
いろいろありがとうね。また明日！ ☺

B

▶ 解説

問1 ③ ①

「第2ステージを通過するためには，…を提出する必要がある」

- ① 料理の作り方の説明書
- ② 最終ステージのためのレシピ
- ③ 地元の農家についてのレポート
- ④ 調理の様子を映した動画

「コンテスト情報」の第2ステージの欄を見ると，提出物は「『調理実演』用のレシピ」とある。レシピとは料理の手順や食材を記したものであることから，正解は①である。ここで提出すべきなのは次の第3ステージ

で行う「調理実演」(Cooking Performance)用のレシピであり、「ファイナルステージ」(the Final Stage)で作る2品のためのレシピではないため、②は不適切。③・④は本文に言及がないことから、いずれも不適切。

問2 ④

「第3ステージの結果を確認できるのは何日からか」

- ① 9月1日
- ② 9月5日
- ③ 9月15日
- ④ 9月25日

「ファイナルステージ評価情報」の下にある注意書きの3つ目に、「第3ステージの結果は、ファイナルステージのちょうど10日前にオンラインで確認できます」とある。「コンテスト情報」の表の上にあるファイナルステージの詳細を見ると、開催日時は9月15日とあり、その10日前は9月5日である。よって正解は②。

問3 ⑤

「ファイナルステージで高得点を得るためには、味と…に最も注意を払う必要がある」

- ① 創造的な要素
- ② 食材を扱う技術
- ③ 栄養素の量
- ④ 見た目の優しさ

「ファイナルステージ評価情報」の表を見ると、「味」(55%)と「見た目」(25%)の2つが最も割合が高い項目となっていることから、正解は④である。表中のappearance(表中では、評価対象が見た目の良さであることを表す)が、選択肢ではvisual excellenceに言い換えられている。

▶ 語句

(リード文)

flyer「チラシ」

hold「～を催す」

exchange student「交換留学生」

apply「応募する」

(本文)

fresh「新鮮な」

grow「～を育てる」

participant「参加者」

local「地元の」

(be) interested in「～に興味がある」

competition「コンテスト、競技会」

complete「～を完了する」

enter「～に出場する」

task「課題」

original「独創的な」

dish「料理」

produce「農産物；～を生産する」

prize「賞品、賞金」

broadcast「～を放送する」

submit「～を提出する」

crop「作物」

recipe「レシピ」

detail「詳細」

performance「実演」

move on to「～に進む」

deadline「締切」

grading「格付け」

technique「技術」

originality「独創性、独自性」

appearance「見た目、外見」

nutritional「栄養の」

material「資料」

either A or B「AとBのどちらか」

mail「郵便、郵送」

result「結果」

announce「～を発表する」

available「得られる、利用できる」

exactly「ちょうど」

application「申し込み、応募」

form「用紙、フォーム」

(設問)

pass「～を通過する、～に合格する」

guide「手引書」

farmer「農家」

pay attention to「～に注意を払う」

creative「創造的な」

element「要素」

skill「技術」

handle「～を扱う」

amount「量」

nutrient「栄養素」

visual「視覚的な」

excellence「優れていること、優秀」

▶ 全文訳

あなたは料理コンテストのチラシを見つけました。そのイベントは、あなたが交換留学生として学んでいる町で開催され、応募したいと思っています。

ミルストーン町青少年料理コンテスト

ミルストーン町で栽培された新鮮な果物や野菜のみを使った料理コンテストを行います。参加対象者は、料理に興味のある地元の高校生です。交換留学生も歓迎です！

コンテストには4つのステージがあります。ステージ1～3をすべてクリアした人だけがファイナルステージに参加できます。

ファイナルステージ

会場：ミルストーン・ホール

日付：2022年9月15日

調理課題：

地元の農産物を使用したオリジナル料理2品

優勝者への賞金：1,000ドル

お知らせ

ファイナルステージの大会が、2022年10月17日にテレビで放送されます。

コンテスト情報：

ステージ	提出物	詳細	2022年の締切と日程
第1ステージ	ミルストーンで生産された農作物についてのレポート	語数：1000～1500語	3月10日 午後7時までに提出
第2ステージ	「調理実演」用のレシピ	ミルストーンの農産物を使ったオリジナル料理1品	5月3日 午後7時までに提出
第3ステージ		「調理実演」：上位5名がファイナルステージに進出できます。	6月8日 開催

ファイナルステージ評価情報

味	調理技術	独自性	見た目	栄養バランス
55%	5%	5%	25%	10%

- 資料は、電子メールまたは郵送のいずれかにて提出できます。
- 第1ステージと第2ステージの結果は、各ステージの締切日から2週間後にオンラインにて発表されます。
- 第3ステージの結果は、ファイナルステージのちょうど10日前にオンラインで確認できます。

詳しい情報および応募フォームについては、[こちら](#)をクリックしてください。

第2問 データ・文章の読み取り

▶ 出題のねらい

データを参照しながらコメントや案内文を読み、その概要を捉えたり、事実と意見を区別したりする力を問う問題。Aでは英語の学習について学校で行われたアンケートなどから必要な情報を読み取り、Bではプレカレッジ・プログラムを紹介するウェブサイトから、意見や主張の根拠を読み取る。

A

▶ 解説

問1 ☒ 6 ☐ 4

「質問1の結果から、全体の半数を超える生徒が自宅で…間、英語を勉強していることがわかる」

- ① 平日、週末ともに30分かそれより短い
- ② 週末は1時間未満の
- ③ 平日は1時間以上の
- ④ 平日、週末ともに30分より長い

正解は④。質問1の表の上から3つ目から6つ目の回答が、30分より長く勉強している人数となる。平日は17人(8+7+1+1)、週末は21人(4+8+6+3)で、両方とも全体の半数(16人)を超えている。①は、勉強時間が30分かそれより短いのは表の1つ目と2つ目の回答であるが、平日は15人(4+11)で、週末は11人(2+9)と、ともに半数を超えないため不適切。②は、週末の勉強時間が1時間未満なのは1つ目から3つ目の回答で、15人(2+9+4)なので、こちらも半数は超えていない。③は、平日の勉強時間が1時間以上なのは4つ目から6つ目の回答であるが、これも9人(7+1+1)で半数を超えておらず不適切。

問2 ☒ 7 ☐ 2

「質問2の結果から…ということがわかる」

- ① ほとんどの生徒が、勉強のためにインターネットを使うことは意味がないと感じた
- ② 4人中1人の生徒はインターネットについて回答しなかった
- ③ インターネットが便利なツールだと考える生徒は半分しかいなかった
- ④ 4分の3の生徒が、インターネットの利用に肯定的な意見を表明した

正解は②。「インターネットについて回答しなかった」とはつまり、質問2の表の上から4つ目の回答「コメントなし」のことを指す。人数は8人で全体の25パーセントであり、選択肢の「4人中1人」と合致す

る。①は、インターネットの使用は効果がないと答えた人数は2人(3つ目の回答)しかいないことから不適切。③は、インターネットが便利なツールだと答えた人数は22人(12+10)(1つ目と2つ目の回答)で、全体の68.75パーセントであり、「半分しかいなかった」と矛盾するため不適切。④は、インターネットの利用に肯定的な意見を表明した人数は③と同じであるが、選択肢にある「4分の3(75パーセント)」には届かないため、こちらも不適切。

問3 8 ①

「質問3であなたのクラスメートが述べた1つの意見は…ということだ」

- ① 英語でほかの人と議論するのはよい考えだ
- ② 海外の大学に留学すると英語力が向上する
- ③ タブレットはまだ授業で使われていない
- ④ 大学に入りたいと思っている生徒がいる

意見とは客観的な事実ではなく、個人が持つ主観的な考えを述べたもので、人によって一致したり異なったりするものである。質問3の表の上から3つ目の「クラスメートとのディベートは面白いだろう」とあるが、面白いかどうかは人によって捉え方が異なることからこれは意見であり、同じ意味の①が正解。②も意見ではあるが、質問3の回答の中に書かれていないため不適切。③は4つ目の回答、④は7つ目の回答からわかる事実であるため、いずれも不適切。

問4 9 ③

「質問3であなたのクラスメートが述べた1つの事実は…ということだ」

- ① 英語の勉強には電子機器が不可欠だ
- ② 授業中に自分の意見を言うことは重要だ
- ③ 最近のグローバルな話題は授業で扱われていない
- ④ スピーキング力の向上には、いくつかの学習方法が効果的である

個人の印象に左右される意見と違い、事実は主観的な要素を含まない。質問3の表の上から8つ目の「世界の時事問題は授業で議論されていない」という事実を述べた回答内容と合致する③が正解。①、②、④はいずれも事実ではなく意見であるため不適切。

問5 10 ④

「質問3によれば、どのような学習が生徒たちから最も好まれているか」

- ① 英語を話すためにデジタル技術を積極的に使用すること

- ② 個人による学習、調査、発表
- ③ 入学試験のための反復練習
- ④ ほかの生徒との交流を通じた学習

英語の授業についての要望や提案を尋ねた質問3の回答の中で最も多いのは、「グループを作ってお互いに教え合えたら楽しいだろう(26人)」である。この内容を言い換えている④が正解。①は4つ目と5つ目の回答内容と合致するが、人数が合計して17人と、26人より少ないこと、②と③はいずれも回答に書かれている内容と合致しない部分を含むことから不適切である。

▶ 語句

(本文)

up to「最大で～まで、～以下の」

effective「効果的な」

somewhat「やや、多少、若干」

request「要望、要求」

suggestion「提案、提言」

summary「概要、まとめ」

response「回答、返答」

form「～を形作る」

discussion「ディスカッション、話し合い」; discuss「～について議論する」

develop「～を発達させる[開発する]」

debate「ディベート、(賛成・反対に分かれた公開の) 討論会」

digital device「デジタル機器」

electronic blackboard「電子黒板」

introduce「～を導入する」

overseas「海外の、外国の」

useful「役に立つ、有用な」

opportunity「機会」

prepare for「～の準備をする」

entrance exam「入学試験」

current issue「時事問題」
(設問)

result「結果」

useless「役に立たない、無駄な」

think of A as B「AをBだと思う」

tool「ツール、道具」

quarter「4分の1」

express「～を表明[表現]する」

positive「肯定的な、前向きな」

opinion「意見」

argue with「～と議論する」

improve「～を向上させる」

state「～を述べる」
electronic「電子的な、電子による」
essential「不可欠な、必須の」
global「グローバルな、世界規模の」
cover「～(話題など)を取り扱う」
according to「～によると」
prefer「～のほうを好む」
active use of「～の積極的な活用」
individual「個人の、個別の」
research「研究、調査」
practice「練習」
interaction「交流」

▶ 全文訳

あなたは、英語学習に関するいくつかの質問に対するクラスメートの回答を読んでいます。

質問1：あなたは家でどれくらいの時間、英語を勉強していますか？

時 間	生徒の数	
	平日	週末
勉強をしない。	4	2
30分以内	11	9
30分より長く1時間未満	8	4
1時間～2時間	7	8
2時間より長く3時間未満	1	6
3時間以上	1	3
合計	32	32

質問2：インターネットを利用することは、英語の勉強に有効な方法だと思いますか？

回 答	生徒の数	生徒の割合
非常に効果的	12	37.50
ある程度効果的	10	31.25
効果がない	2	6.25
コメントなし	8	25.00
合計	32	100.00

質問3：英語の授業について、要望や提案がありますか？(複数回答可)

回答の概要	生徒の数
グループを作ってお互いに教え合えたら楽しいだろう。	26
チームでディスカッションすることで、スピーキング力が鍛えられる。	21
クラスメートとのディベートは面白いだろう。	15
タブレットや電子黒板などのデジタル機器を導入すべきである。	10

海外の生徒とのオンラインミーティングは、スピーキングやリスニングを鍛えるのに役立つだろう。	7
生徒がプレゼンテーションをする機会をもっと増やすべきだ。	5
大学受験に備えるため生徒はもっとテストを受けるべきだ。	3
世界の時事問題は授業で議論されていないが、議論すべきだ。	2
(そのほかの要望・提案)	8

B

▶ 解説

問1 [11] ③

「このプログラムであなたは何をするか」

- ① 現役の大学生と一緒に授業を受ける
- ② 高校の先生から良い評価を得る
- ③ 大学の出願を手伝ってもらふ機会を得る
- ④ レッドウッド大学への入学許可を得る

講座案内の「プレカレッジ・プログラムとは？」の第1文に「大学生活に向けての準備のために、学術的な授業やプロジェクト研究、大学出願のアドバイスを生徒に提供します」とあることから、③が正解。①は、第2文に、現役大学生が参加者に大学での勉強について話す機会があるとの記載はあるものの、一緒に授業を受けるとは述べられていないため不適切。②と④はいずれも本文に言及がない。

問2 [12] ②

「このプログラムは…生徒にとって有益である」

- ① 大学での勉強を始めたばかりである
- ② 大学でどの専門分野を専攻するか決めていない
- ③ 夏休みに高校の単位を取得する必要がある
- ④ 大学の講義を無料で受講したい

講座案内の「このプログラムを通してできること」の1つ目に「自分にとって面白い専門分野を見つける」とあることから、大学で専攻する分野が決まっていない生徒に有益なプログラムであることがわかる。よって正解は②。①は、このプログラムは大学に入る前の高校生を対象としていること、③は、「単位について」の説明に、プログラムへの参加は高校の単位にはならないと明記されていること、④は、「日程と費用」の説明から有料であることがわかるため、いずれも不適切。

問3 [13] ③

「レッドウッド大学についての1つの事実は…ということだ」

- ① キャンパスの近くに快適な宿泊施設がある
- ② 勉強する価値のあるさまざまな講座を提供している
- ③ 1 世紀以上前に創設された
- ④ 周囲の環境が魅力的で自然豊かである

「プログラム受講者のコメント」の2つ目、エリサからのコメントに「125 年の歴史を持つ有名な大学の1つを探索する絶好のチャンスです」とあることから、レッドウッド大学は 125 年前に創設されたことがわかる。よって正解は③。①、②、④はいずれも、個人によって印象が左右される意見である。

問 4 14 ②

「このプログラムについて述べられた1つの意見は...ということだ」

- ① プログラム開始の6 カ月以上前に申し込みが始まる
- ② 5 週間の講習が最適なプログラムである
- ③ すべてのクラスの生徒数が 20 人以下である
- ④ 1 週間の講習は短すぎて満足できない

「プログラム受講者のコメント」を見ると、アンドリュースは講座の種類が豊富な5 週間の講習がほかの講習よりも有益であると述べている。これはアンドリュースが3つある講習の中で5 週間の講習が一番だと思っているということになり、これは個人の意見である。よって正解は②。①は、講座案内の「日程と費用」よりプログラム開始は 2022 年 6 月 27 日、「申し込み日程と締切日」より申し込み開始は 2021 年 12 月 6 日とあり、この差は 6 カ月以上あることから、これは事実である。③は、アンドリュースからのコメントに「1 クラスは最大 20 人で構成されている」とあることからこれも事実。④は、ものごとに満足できるかどうかは個人の印象に左右されることから意見ではあるが、本文に言及がないため不適切。

問 5 15 ①

「このプログラムに申し込むために、何をしなければならないか」

- ① オンラインで申込書に記入する
- ② 英語力を証明するものを提供する
- ③ 2022 年 5 月 16 日までに 60 ポンドを大学に送金する
- ④ 申し込み締切日までにエッセイを提出する

講座案内の「登録に必要なもの」の1つ目にある「記入済みのオンライン申込書」を言い換えた①が正解。③については、2つ目にある申し込み金 60 ポンドは、

申し込む際(2021 年 12 月 6 日から 2022 年 1 月 14 日の期間)に支払いが必要だと記載されており、最終決定日の 2022 年 5 月 16 日までではないことから不適切である。②と④については本文に言及がない。

▶ 語句

(リード文)

join「～に参加する」

programme「プログラム(米: program)」

the UK「イギリス(the United Kingdom)」

former「前の、以前の」

participant「参加者」

(本文)

provide A with B「A に B を提供する」

academic「学術的な」

application「出願、申し込み」; apply「申し込む」

advice「アドバイス、忠告」

in order to *do*「～するために」

prepare for「～の準備をする」

furthermore「さらに」

current「現在の」

opportunity「機会」

discover「～を見つける[発見する]」

academic field「学術分野」

exciting「面白い、刺激的な」

gain「～を得る[獲得する]」

global perspective「グローバルな視点」

prospective student「入学希望者」

accommodation「宿泊施設」

fee「費用、料金」

session「授業(時間)、集まり」

credit「(修得)単位」

include「～を含む」

maximum「最大限」

offer「～を与える[提供する]」

deadline「締切」

decision「決定」

requirement「必要なもの、必要条件」

completed「完成した、記入済の」

be worth *doing*「～する価値がある」

consist of「～で構成されている」

at most「最大でも、多くとも」

pursue「～を追求する」

deeply「徹底的に、深く」

valuable「有益な、価値がある」

wide range of「幅広い～、広範囲の～」

explore「～を探索[探求]する」

highly respected「高名な、高く評価された」

comfortable「快適な」
greenery「緑の草木」
(設問)
attend「～に参加[出席]する」
evaluation「評価」
permission「許可」
beneficial「有益な」
area of expertise「専門知識分野」
major in「～を専攻する」
earn「～を得る」
at no cost「無料で」
found「～を創設[設立]する」
century「世紀, 100年間」
surrounding「周囲の」
attractive「魅力的な」
rich in nature「自然豊かな」
satisfactory「満足できる, 申し分のない」
fill in O [O in]「O に記入する」
evidence「証明するもの, 証拠」
submit「～を提出する」

▶ 全文訳

あなたは、イギリスの大学のプレカレッジ・プログラムへの参加を考えており、プログラムについての情報や、以前の参加者のコメントを読んでいます。

高校生対象レッドウッド・プレカレッジ・プログラム

プレカレッジ・プログラムとは？

大学生活に向けての準備のために、学術的な授業やプロジェクト研究、大学出願のアドバイスを生徒に提供します。さらに、レッドウッド大学の現役学生が、大学で勉強するとはどういうことなのかを参加者に伝える機会も提供します。

このプログラムを通してできること：

- －自分にとって面白い専門分野を見つける
- －世界中からの入学希望者と一緒に学ぶことで、グローバルな視点を身につける
- －レッドウッド大学の学生寮に滞在し、街の散策をして過ごす

日程と費用：

- ・1週間の講習：2022年6月27日～7月3日／2,245ポンド
- ・3週間の講習：2022年7月4日～7月24日／6,730ポンド

- ・5週間の講習：2022年7月25日～8月28日／11,200ポンド

単位について：

プログラムには最大20講座が含まれますが、高校や大学の単位にはなりません。

申し込み日程と締切日：

- 1) 申し込み開始：2021年12月6日
- 2) 申し込み締切：2022年1月14日
- 3) 最終決定の送付：2022年5月16日

登録に必要なもの：

- ・記入済みのオンライン申込書
 - ・申し込み金60ポンド
- ※申し込み時に支払いが必要

プログラム受講者のコメント

このプログラムは受ける価値があります！1クラスは最大20人で構成されており、自分の研究を徹底的に追求することができます。講座の種類が豊富なので、5週間の講習がほかの講習よりも有益だと思います。

(アンドリュー)

125年の歴史を持つ高名な大学の1つを探索する絶好のチャンスです。私は、たくさんの緑に囲まれた、美しく快適なキャンパスがたいへん気に入りました。(エリサ)

第3問 ブログ・雑誌記事の読み取り

▶ 出題のねらい

ブログや雑誌記事からの出題。Aでは地図を参照しながらブログに書かれた内容を読み取り、Bではある作家の経歴について書かれた雑誌記事を読み、出来事を時系列に整理したり、その概要を把握したりする。

A

▶ 解説

問1 ⑬ ③

「アルフレッドの投稿文から、…ということがわかる」

- ① アルフレッドは旅行の初日に海産物を食べ損ねた
- ② アルフレッドはイルカと泳いでいるときに写真を撮った
- ③ 自然現象がアルフレッドのスケジュールに影響を与えた

④ 公共交通機関はアルフレッドが島内を移動するのに役立った

第3段落第1・2文に「翌朝、スレイド国立公園に行く予定だったのですが、その一帯はまだ閉鎖されていました。代わりに、スレイド水族館を訪れました」とある。国立公園は火山の周辺にあり、第2段落第2文に「火山の活動が活発すぎたので、周辺の道路も含めてその一帯が閉鎖されていました」とあることから、火山の活発化という自然現象によって、アルフレッドの予定が変わったことがわかる。よって、③が正解。①は第2段落第6文、④は第1段落第2文および第4段落第2文の内容と矛盾するため、いずれも不適切。②については、第2段落第5文で用いられている〈should have + 過去分詞「～すべきだった(のにしなかった)」〉に着目する。「写真を撮るために防水カメラを持ってくるべきでした」とはつまり、アルフレッドはイルカと泳いでいるときに写真が撮れなかったということになるので、こちらも不適切。

問2 17 ①

「アルフレッドと家族はどのホテルに泊まったか」

- ① ホテルA
- ② ホテルB
- ③ ホテルC
- ④ ホテルD

まず、2日間の移動ルートを整理する。

1日目：

空港→ホテル→⁽¹⁾ダイビングスポット→
レストラン→ガソリンスタンド→ホテル

2日目：

ホテル→水族館→コーヒー豆農園→⁽²⁾ホテル→空港

上記の下線部(1)・(2)の内容から泊まったホテルを特定する。

- (1) 地図上にダイビングスポットは2カ所あるが、第2段落第1文に「東側にある有名なダイビングスポットに車で向かいました」とあることから、行ったのは島の東側のグラス・ビーチであることがわかる。また第2段落第6文の「夕食は、そこ(グラス・ビーチ)から一番近いレストランに行き、カニを満喫しました」から、食事をしたのは北側にあるレストランであることがわかる。(西側にあるレストランに行くにはかなり距離がある)さらに、続く第7・8文に、「(レストランから)ホテルに戻る一番の近道を選びました。しかし、ホテルに着く前にガソリンスタンドを通りかかったので、車を止め、給油しました」とある。レストランからホテルB・Cに向かう途中でガソリンスタンドはないため、この時

点でアルフレッドが向かっていたホテルはAかDであるとわかる。

- (2) 第3段落第6文に「最後に、そこ(ホテル)から空港へ向かう車から、前方に見える山の景色を楽しみました」とあり、ホテルから空港に向かうときに前方に山が見えるのはホテルAになる。ホテルDから空港に向かうと山は後方に見えるため、ホテルDは不適切。

以上から、正解は①。ホテルの話は度々出てくるものの、場所を特定する情報は最後まで揃わないので、早合点せず根気よく読み込む必要がある。また、基点となるダイビングスポットの位置を間違えると解答が導けなくなるため、方角の知識は非常に重要である。

▶ 語句

(リード文)

island「島」

post「～を投稿[掲載]する；投稿，投稿文」

experience「経験」

(本文)

〈タイトル〉

isle「島(固有名詞で用いられる表記)」

paradise「楽園」

〈第1段落〉

go around「周回する，一回りする」

poor「不十分な，劣っている」

public「公共の」

transport「交通機関(米：transportation)」

rent「～を借りる」

〈第2段落〉

east「東」

unfortunately「残念ながら」

volcano「火山」

active「活動的な」

including「～を含めて」

wild「野生の」

amazing「素晴らしい」

waterproof「防水の」

crab「カニ」

direct「直行の」

pass「～を通る[通りかかる]」

petrol station「ガソリンスタンド(米：gas station)」

reach「～に到着する」

fuel「燃料」

〈第3段落〉

still「まだ」

shut「～を閉鎖する」

instead「代わりに」

aquarium「水族館」
colourful「色とりどりの(米：colorful)」
jellyfish「クラゲ」
afterwards「その後(米：afterward)」
bean「豆」
farm「農園，農場」
luggage「手荷物(主にイギリス英語で用いられる。主に米：baggage)」
finally「最後に」
view「景色」
ahead of「～の前に」
〈第4段落〉
recommend「～を勧める」
get around「あちこちに移動する」
(設問)
fail to do「～し損ねる」
seafood「海産物」
natural「自然の」
phenomenon「現象(複数形：phenomena)」
affect「～に影響を与える」

▶ 全文訳

あなたのイギリス人の友人であるアルフレッドが、家族と一緒にある島を訪れ、自分の体験についてのブログ記事を投稿しました。

スレイド島：小さな楽園

2021年11月13日午後10時23分のアルフレッドによる投稿

スレイド島は、車で一周できるほどの小さな島です(地図を参照)。公共交通機関が乏しいため、私たちは空港で車を借りました。

ホテルにチェックインした後、東側にある有名なダイビングスポットに車で向かいました。残念ながら、火山の活動が活発すぎたので、周辺の道路も含めてその一帯が閉鎖されていました。僕は野生のイルカと一緒に泳いだのは初めてでした。とても素晴らしかったです！ 写真を撮るために防水カメラを持ってくるべきでした。夕食は、そこから一番近いレストランに行き、カニを満喫しました。とても疲れていたのに、ホテルに戻る一番の近道を選びました。しかし、ホテルに着く前にガソリンスタンドを通りかかったので、車を止め、給油しました。

翌朝、スレイド国立公園に行く予定だったのですが、その一帯はまだ閉鎖されていました。代わりに、スレイド水族館を訪れました。僕は色とりどりのクラ

ゲがとても気に入りました。その後、コーヒー豆農園でコーヒーを飲みました。そして、荷物を取りにホテルに戻りました。最後に、そこから空港へ向かう車から、前方に見える山の景色を楽しみました。

この島にぜひ行ってみてください！ 僕たちのように、車だけで移動することをお勧めします。

スレイド島の道路地図

(地図は省略)

B

▶ 解説

問1

18	②	19	①
20	③	21	④

「次の出来事(①～④)を起こった順に並べなさい」

- ① クレイグはユニークな刑事のキャラクターを思いついた。
- ② クレイグはスポーツ中に脚の一部にけがを負った。
- ③ クレイグは文学的業績で賞を受賞した。
- ④ クレイグは大学で文章の書き方に関する講義を始めた。

4つの出来事とそれが起きた時期を整理しながら解く。まず、第1段落第3文に「数カ月前、クレイグは本を書くことに加え、大学で小説の書き方を教え始めた」と書かれている。これは④に相当する。第2段落は子供のころの出来事について述べられている。第6文に「17歳のとき試合中に足首を骨折してしまった」とあり、②に合致する。続く第3段落は脚の治療時について書かれている。第6文に「クレイグは、しばしば自身が犯罪者のように振る舞う刑事、ハンク・フーパーを生み出した」とあり、これは①に合致する。第4段落は「27歳のとき」で始まり、作家になってからの出来事について書かれている。第3文に「その5年後(つまり32歳のとき)、シリーズ3作目が最優秀小説としてアーサー・エリオット賞を受賞した」とあり、③に合致する。以上を時系列に並べると、②→①→③→④の順になる。

問2

22

 ①

「クレイグがハンク・フーパーの小説を書き始めたのは、…からである」

- ① 架空の物語を作る自分の才能を発見した
- ② 少年時代に作家になりたいと思っていた
- ③ 叔父が刑事についての小説を書くよう彼に勧めた
- ④ 叔父が犯罪者としての経験を彼に話した

第3段落第5文に「その話を聞いていたクレイグは、

自分が叔父の話に似たような架空の状況を創作するのが得意だということに気づいた」とある。「その話」とは刑事だった叔父が話してくれた犯罪事件の話であり、続く第6文に「まさにそのとき、クレイグは、しばしば自身が犯罪者のように振る舞う刑事、ハンク・フーパーを生み出した」とあることから、①が正解。

問3 23 ②

「この物語からクレイグが…ということがわかる」

- ① 61 歳になる前に 15 種類の犯罪小説シリーズを出版した
- ② 最初の小説シリーズを完成させるのに 30 年以上費やした
- ③ 犯罪小説への興味のためホッケーをやめた
- ④ クリスタル・アイス・ホッケー・リーグでホッケーをしていた

第4段落第1文に「27歳のとき、クレイグは…最初の小説を出版し…」とあり、また同段落第5・6文に「先週、最新作が出版されたばかりである。15作品目にして、シリーズの完結編である」とある。続く第7文より現在61歳であることがわかるため、シリーズの第1作から完結編までに30年以上の月日が経っていることになる。よって、正解は②。なお、クレイグは1つの小説シリーズにおいて15作品を出版しているため、①は誤り。

▶ 語句

(リード文)

the UK「イギリス(the United Kingdom)」

introduce A to B「AをBに紹介する」

favourite「好きな、お気に入りの(米: favorite)」

writer「作家」

following「次の、以下の; 支持者、ファン」

article「記事」

literary「文学の」

(本文)

〈タイトル〉

long-lasting「長く続く」

success「成功」

〈第1段落〉

probably「おそらく」

novel「小説」

at least「少なくとも」

feature「～を主役にする」

huge「大きな、莫大な」

worldwide「世界中で」

besides「～に加えて」

university「大学」

on one's mind「～の気にかかって」

〈第2段落〉

interest「興味、関心」

(be) devoted to「～に没頭する」

join「～に加わる」

however「しかしながら」

ankle「足首」

injury「けが、負傷」

give up「～をやめる[あきらめる]」

spend「～を費やす」

〈第3段落〉

crime「犯罪」

cruel「残酷な」

character「登場人物、キャラクター」

detective「刑事」

numerous「数多くの」

criminal「犯罪の; 犯罪者」

case「事件」

solve「～を解決する」

realise「～に気づく(米: realize)」

(be) good at「～が得意で」

fictional「架空の、フィクションの」

situation「状況」

invent「～を発明[考案]する」

behave「振る舞う」

still「まだ」

〈第4段落〉

publish「～を出版する」

main character「主人公」

sell「売れる」

copy「部数、冊」

win「～を受賞する[勝ち取る]」

award「賞」

continue「～を続ける」

add「～を加える」

latest「最新の」

work「作品」

A as well as B「BだけでなくAも」

conclusion「結論、完結編」

take a break from「～を一休みする」

(設問)

event「出来事」

order「順番」

come up with「～を思いつく」

unique「独特な」

injure「～を痛める[傷つける]」

part「一部」

receive「～を受け取る」
achievement「業績」
lecture「講義」
discover「～を発見する」
talent「才能」
encourage O to do「O が～するよう勧める」
experience「経験」
decade「10 年間」
complete「～を完了する」

▶ 全文訳

イギリスの友人が、自分の好きな作家をあなたに紹介してくれました。もっと詳しく知りたいと思っていたあなたは、文芸誌で次のような記事を見つけました。

クレイグ・ベンジャミン、長きにわたる成功の物語

今日、おそらくほとんどのイギリス人が少なくとも一度はクレイグ・ベンジャミンの小説を読んだことがあるだろう。ハンク・フーパーを主人公にしたシリーズには、世界中に多くのファンがいる。数カ月前、クレイグは本を書くことに加え、大学で小説の書き方を教え始めた。しかし、彼は小説を書くことを常に考えていたわけではない。

クレイグは少年時代、本にはまったく興味がなかった。学校でそうしなければならないときだけ本を読んでいた。彼はクリスタル・アイス・ホッケー・リーグでアイスホッケーをしたいと思っていた。それは彼の幼いころからの夢だった。彼はアイスホッケーに没頭し、13 歳になると、彼の学校のチームに加入した。けれども、17 歳のとき試合中に足首を骨折してしまった。とてもひどいけがだったので、ホッケーをやめ、そのリーグに参加する夢をあきらめた。彼は 6 カ月間入院しなければならなかった。

その間、クレイグは多くの犯罪小説を読んだ。冷峻な登場人物が大好きだった。ある日、刑事だった叔父が、入院中の彼を見舞いに来た。叔父はクレイグに、自分が解決した数々の犯罪事件について話した。その話を聞いていたクレイグは、自分が叔父の話に似たような架空の状況を創作するのが得意だということに気づいた。まさにそのとき、クレイグは、しばしば自身が犯罪者のように振る舞う刑事、ハンク・フーパーを生み出した。これはまだ彼が入院していたときのことであった。

27 歳のとき、クレイグは最初の小説を出版し、それはハンク・フーパーを主人公にしたものだった。それは何百万部も売り上げた。その 5 年後、シリーズ 3 作目が最優秀小説としてアーサー・エリオット賞を受賞した。その後、そのシリーズに本を書き足し続けた。先週、最新作が出版されたばかりである。15 作目にして、シリーズの完結編である。現在 61 歳のクレイグは、小説を書くのを一休みしているところである。

第 4 問 Eメールのやり取り

▶ 出題のねらい

Eメールのやり取りと、添付された図表を見て、やり取りの趣旨を読み取る問題。複数の情報源の中から必要な情報を読み取り、総合的に判断する力が問われる。

▶ 解説

問 1 24 ② 25 ④

「姉妹校のゲストは、午前中は 24 番の列車で到着し、夕方は 25 番の列車でギャラリーに移動する」
① 11 ② 12 ③ 13
④ 81 ⑤ 82 ⑥ 83

カオルはメールの第 1 段落第 4 文で、姉妹校のゲストは午前 9 時 40 分にセンダ駅に到着するのかと質問している。それに対してリチャードは「皆に少しでも余裕を持ってもらうために、彼らは午前 9 時 30 分着の電車に乗ります」と返答していることから、姉妹校のゲストが午前中に乗ってくるのは、センダ駅に午前 9 時 30 分に到着する 12 番の電車であることがわかる。よって 24 には②が入る。一方、カオルの「帰りは電車に乗ってセンダ駅に戻りますか？」(第 6 段落第 1 文)という質問に対してリチャードは、「ヤマト駅から電車に乗るのがもっとも良い選択ですね。午後 7 時 15 分に作品展が始まる少し前にギャラリーに到着するよう、午後 6 時 30 分にそこを出発しましょう」と返答している。このことから、夕方にギャラリーに行くために乗るのはヤマト駅を午後 6 時 30 分に出発する 81 番の電車ということになる。よって 25 には④が入る。

問 2 26 ②

「スケジュール案を完成するのに最適なのはどれか」
A：繁華街

B：アートギャラリー

C：海岸

D：城

姉妹校からの訪問のスケジュール案

	→	→	→
9:45		12:00	14:30
			16:30

- ① B→C→A→D
- ② B→C→D→A
- ③ B→D→A→C
- ④ B→D→C→A

選択肢はすべて最初がBなので、2つ目以降のスケジュールを追っていく。カオルは第3段落第3文で、ナギ城で昼食をとることを提案しているが、リチャードは第2段落第4文で「天気予報を見ると、晴れた空の下でそこ(海岸)でお弁当を食べるのが一番良さそうですね」と述べている。天気予報の表を見ると、12時から14時に晴れの予報が出ていることから、2つ目の空所にはCが当てはまる。リチャードは続く第5文で「その後、城に行きましょう」と述べていることから、3つ目の空所にはDが入ることがわかる。また、カオルの「(海岸は)ナギ城からバスでわずか30分ほどのところにあります」(第4段落第2文)という記述を踏まえると、14時まで海岸で過ごした一行が30分かけてバスで移動して14時30分に城に着くというスケジュールもつじつまが合う。これで正解は②だとわかるが、念のため4つ目の空所にAが当てはまるかも検討しておく。カオルの「その後、繁華街のヤマト地区に戻るのはどうでしょう?」(第5段落第1文)という提案に対してリチャードは第3段落で、繁華街にある親しい友人のアトリエなどを訪れた後、朝食レストランでの夕食を提案している。続く第4段落第2文の「午後7時15分に作品展が始まる少し前にギャラリーに到着するよう、午後6時30分にそこを出発しましょう」という記述からも、一行は城を訪れた後に繁華街に移動し、午後6時30分ヤマト駅発の電車に乗るまでの時間をそこで過ごす判断できる。よってスケジュールは、ギャラリー→海岸→城→繁華街の順であり、正解は②である。

問3 27 ③

「カオルは、グループがヤナギでどんなことをして楽しめると考えているか」

- ① 地元の友達にお土産を買うこと
- ② 巨大な岩に登ること
- ③ 自然の絵を描くこと
- ④ 城の周りを散策すること

ヤナギ海岸での活動についてカオルは、「水遊びをしてから、ただ座って風景を描くのも楽しいと思います。巨大な岩や海鳥を描けば、本当に美しい絵が出来るでしょう」(第4段落第3・4文)と述べていることから、③が正解。①は繁華街での活動であり、④はリチャードが言及しているナギ城での活動であることから不適切。②の巨大な岩に登るという記述はない。

問4 28 ②

「ゲストは当日、28 移動はしない」

- ① バスで
- ② タクシーで
- ③ 電車で
- ④ 徒歩で

移動手段として利用しないものを選択する。リチャードのメールの第1段落第3文に、姉妹校の生徒たちは電車に乗ってセンダ駅に来て、その後歩いてギャラリーに向かうと書かれている。また、第2段落第2文では、移動手段としてスクールバスを手配すると述べている。一方、カオルが第1段落第4文でタクシーの利用について尋ねた際、リチャードは第1段落第3文でそれを否定している。よって正解は②。

問5 29 ①

「サナダ夫妻と過ごした後、生徒たちは何をするか」

- ① 夕食を食べて、ギャラリーに戻る
- ② 昼食を食べて、泳ぐ
- ③ 彫刻を購入し、集会に参加する
- ④ 30分かけて古い建造物の遺跡に行く

リチャードは第3段落第2・3文で「彼ら(サナダ夫妻)とおしゃべりを楽しんだり、周辺のお店で買い物をしたりして時間を過ごせます。同じ通りには、おいしい朝食レストランがあるので、買い物の後の夕食をとるという計画にも使えそうです」と述べている。続く第4段落では、その後ギャラリーに戻るためにヤマト駅で電車に乗ることが書かれていることから、正解は①である。③は、彫刻を買う可能性はあるが、集会は午前中に行われるため不適切。

▶ 語句

(リード文)

artistic「芸術の」

day out「日帰りの小旅行」

sister school「姉妹校」

exchange「やり取り、交換」

draft「～の草案を書く」

so that S can do「～するために、～できるように」

(英文1)

〈第1段落〉

explain「～を説明する」

brief「簡単な, 簡易な」

assembly「集会, 会合」

gallery「ギャラリー, 美術館」

be scheduled for「～の予定になっている」

examine「～を調べる」

attached「添付の」; attach「～を添付する」

timetable「時刻表, 予定表」

〈第2段落〉

be aware that「～であることを知っている」

exhibition「作品展, 展示会」

amazing「素晴らしい」

talent「才能」

side by side「並んで, 一緒に」

put A on display「A を展示する」

piece「作品」

architecture「建築」

experience「経験」

〈第3段落〉

reconstruction「改築, 再建」

castle「城」

under way「進行中で」

historic「歴史上有名な」

〈第4段落〉

pleasure「楽しみ, 喜び」

draw「～を描く」

landscape「風景」

giant「巨大な」

seabird「海鳥」

be worried about「～を心配している」

latest「最新の」

forecast「予報」

figure out「(答えを)見つけ出す」

fit A into B「A を B に組み込む」

〈第5段落〉

downtown「繁華街で, (都市の)中心部で」

be full of「～でいっぱいである」

run「～を経営する」

creative「クリエイティブな, 創造的な」

artist「芸術家, アーティスト」

unique「珍しい, 独特な」

souvenir「土産」

(英文2)

〈第1段落〉

extra「余分の, 余った」

〈第2段落〉

location「場所」

opportunity「機会」

create「～を創造する」

arrange「手配する」

plenty of「たくさんの～」

art supply「画材」

plan on *doing*「～する計画である, ～するつもりだ」

〈第3段落〉

sculpture「彫刻」

delicious「美味しい」

vegetarian「菜食主義の」

evening meal「夕食」

〈第4段落〉

option「選択肢」

check over「～をチェックする」

(設問)

complete「～を完成させる」

climb「～に登る」

stroll「散策する」

get around「移動する」

purchase「～を買う」

attend「～に参加する」

ruin「廃墟, 遺跡」

▶ 全文訳

あなたの英語の先生のリチャードが、あなたとクラスメートのカオルに、姉妹校の生徒たちのために芸術に関わる日帰りの小旅行を計画するのを手伝うよう依頼してきました。スケジュール案を書くために、あなたはリチャードとカオルのメールのやり取りを読んでいます。

(英文1)

リチャード先生、こんにちは。

来月の6人のゲストのスケジュールについて、いくつかのアイデアと質問があります。前回のミーティングで説明してくださったように、ハト・アートギャラリーで簡単な「ようこそ日本へ」集会が午前10時に予定されています。添付の時刻表を私は調べました。ゲストはヤマト駅を出て、午前9時40分にセンダ駅に到着し、そこからタクシーでギャラリーに向かうのでしょうか？

集会の後、両校の生徒が夜の生徒の作品展の準備を手

伝えることは承知しています。日本とスコットランドの若い学生たちの才能を並べて見るができるのは素晴らしいことだと思います。作品を展示し終えた後は、芸術と建築の体験を一日中楽しんでもらえるように、ちょっとした旅ができないかと考えてみました。

ナギ城の改築作業はまだ進行中ですが、とても美しい歴史的建造物です。外から見るだけでも生徒たちは喜ぶと思います。そこで昼食をとることもできます。

また、ヤナギ海岸は、ゲストを連れていくのに最適な場所です。ナギ城からバスでわずか30分ほどのところにあります。水遊びをしてから、ただ座って風景を描くのも楽しいと思います。巨大な岩や海鳥を描けば、本当に美しい絵が出来上がるでしょう。でも天気心配です。当日の最新の天気予報を添付しましたので、スケジュールに合わせていつ頃がいいか考えるのに参考にしてください。

その後、繁華街のヤマト地区に戻るのはどうでしょう？ クリエイティブな芸術家が経営する面白いお店がたくさんあります。姉妹校の生徒たちは、家に持って帰る珍しいお土産を見つけられるのではないのでしょうか。

帰りは電車に乗ってセンダ駅に戻りますか？ 夕食の時間と場所も教えていただけますか？

よろしくお願いします。
カオルより

(英文2)
こんにちは、カオル。

メールをありがとう。素晴らしいアイデアですね。最初の質問にお答えすると、いいえ、生徒たちは駅からギャラリーまでは歩いて移動し、皆に少しでも余裕を持ってもらうために、彼らは午前9時30分着の電車に乗ります。

城と海岸という2つの場所は、どちらにも学びと創造の機会があるので、良いアイデアですね。スクールバスを手配しておきましょう。海岸には、タオルや画材をたくさん持っていきたいですね。天気予報を見ると、晴れた空の下でそこでお弁当を食べるのが一番良さそうですね。その後、城に行きましょう。城周辺を散策するには1時間もあれば十分でしょう。

私の友人である芸術家のサナダ夫妻がヤマト地区にアトリエを持っていて、興味深い絵や彫刻を展示しています。彼らとおしゃべりを楽しんだり、周辺のお店で買い物をしたりして時間を過ごせます。同じ通りには、おいしい菜食レストランがあるので、買い物の後に夕食をとるという計画にも使えそうです。

ヤマト地区にいますので、ヤマト駅から電車に乗るのがもっともよい選択ですね。午後7時15分に作品展が始まる少し前にギャラリーに到着するよう、午後6時30分にそこを出発しましょう。私がチェックするので、この新しいスケジュール案を作ってくださいませんか？

ありがとう
リチャードより

※図表は省略

第5問 レポート文の読み取り

▶ 出題のねらい

口頭発表のための準備をする場面で、ニュース記事を読み取り、説明文の概要、要旨、文章の構成を把握する力を問う。

▶ 解説

問1 30 ③

「プレゼンテーションに最も適切なタイトルはどれか」

- ① 犬とミツバチの共同作業
- ② パブロフの条件反射についての研究
- ③ 昆虫の世界の探知スペシャリスト
- ④ ロスアラモスで最も強力な爆弾

優れた嗅覚を持つミツバチを爆発物探知に活用するために、アメリカで行われた実験や訓練の内容を紹介するというのがこの記事の趣旨である。よって正解は③。①は、ミツバチが犬の鼻と同等の感度を持つという記述はあるが、犬と共同作業するとは述べられていないため不適切。②は、パブロフの条件反射については第5段落第1・2文で述べられているものの、あくまでもミツバチの訓練法の説明の中の一部であり、主たるテーマではないため不適切。

問2 31 ②

「最も適切な項目で『ミツバチの特徴』のスライドを完成させなさい」

- ① 花から種を集める
- ② さまざまな匂いの中から1つの匂いを見つける
- ③ 攻撃する敵を探す
- ④ 色を識別するセンサーとして機能する

ミツバチの特徴については、第2・3段落で説明されている。スライドの空所は触角の説明にあたるため、第2段落第2～4文を参照するが、第2・3文の内容はスライドに記載されている。よって正解は、第4文の「その優れた嗅覚で、自分のコロニーを識別したり、似たような色や香りを持つ花の中から探している花を見つけ出したりする」を端的に言い換えた②である。④は、ミツバチの触角が識別するのは色ではなく匂いであること、①と③は本文に言及がないため、いずれも不適切。

問3 32 ④ 33 ③
34 ① 35 ②

「4つの出来事を行われる順に選び、『訓練の流れ』のスライドを完成させなさい」

- ① 砂糖水だけを与えて匂いを嗅がせる。
- ② 爆発物の匂いを嗅いだ後に砂糖水を与えられる。
- ③ 訓練環境に慣れるために時間を与えられる。
- ④ 非常に小さなチューブに入れられる。
- ⑤ 研究室に運ばれる。

ミツバチの訓練の流れについては、第4・5段落を参照する。スライドに記載されている最初の項目を見ると、「ハチは冷やされる」(第4段落第2文)なので、これよりも後の手順を読み取る。おとなしくなるように冷やされたミツバチを、ごく小さなチューブに入れる(第4文)④→その状況に慣れるために休息時間を与える(第5文)③→砂糖水に浸した綿棒を触角に近づける(第6文)①とあり、ここで砂糖水に反応したミツバチが次の段階(第5段落)に進む。そこでは、まず爆発物の匂いを嗅がせ、その後褒美に砂糖水を与えている(第3文)②。続く第4・5文の内容はスライドの下方に記載されているため、この順番④→③→①→②が正解。なお、ハチが研究室に運ばれるのは、ハチを冷やす前なので、⑤は不要な選択肢である。

問4 36 37 ③・⑤ (順不同)

「『実地試験』のスライドに最適な2つの項目を選ばなさい(順序は問わない)」

- ① 研究室にあるケース

- ② 空港にあるコンテナ
- ③ 男性が着ていた上着
- ④ 沿道にあるトラック
- ⑤ 駐車場にある車

実地試験については、第6段落を参照する。スライドの空所には、専用装置に入れられたミツバチがどのような状況で爆発物を探知したのかが入る。第5～9文にかけて、実地試験は3つの状況で行われ、1つ目は「歩道に置いた爆発物を詰めた箱(第6文)」、2つ目は「上着に爆薬を隠した男性(第8文)」、3つ目は「駐車場にあるダイナマイトを積んだトラック(第9文)」を検知対象としたとある。1つ目はスライドに記載されているため、スライドの1つ目の空所の正解は③、2つ目の空所の正解は⑤となる。①、②、④は、場所と物の組み合わせが本文と異なるため、いずれも不適切。

問5 38 ③

「最も適切な項目で『さらなる研究』のスライドを完成させなさい」

- ① 特定の匂いを検知するほど賢くない
- ② 訓練するのが難しすぎる
- ③ チューブの中で2日を超えて生きられない
- ④ 屋外ではその能力を発揮しない

さらなる研究については第7段落で述べられている。現状の問題点として挙げられているのは、チューブに固定されたハチが2日しか生きられないこと(第3文)、すべてのハチが探知に適しているわけではないこと(第5文)の2つであり、後者はスライドに記載されているため、空所には前者を言い換えた③が入る。①、②、④はいずれも本文の記述と異なる内容のため不適切。

▶ 語句

(リード文)

take part in「～に参加する」

oral「口頭の」

following「次の」

in preparation for「～に備えて」

(本文)

〈第1段落〉

police dog「警察犬」

explosive「爆発物、爆薬」

excellent「素晴らしい」

sense of smell「嗅覚」

train「～を訓練する」

detect「～を探知する」; detection「探知」

bomb「爆弾」
researcher「研究者」
laboratory「研究所(略称: lab)」
creature「生き物」
honeybee「ミツバチ」
〈第2段落〉
colony「コロニー(同じ種類の動植物が共生する集団)」
consist of「～から成る, ～で構成される」
roughly「おおよそ」
a quarter of「～の4分の1」
search for「～を探す」
pollen「花粉」
antenna「触角(本文の antennae は複数形)」
thousands of「何千もの～」
sensory cell「感覚細胞」
equal「等しい, 同一の」
sensitivity「感度」
identify「～を識別する」
certain「特定の」
similar「似ている」
scent「香り」
〈第3段落〉
besides「～のほかに」
focus on「～に注目する[焦点を合わせる]」
tongue「舌」
close to「～の近くに」
stick O out [out O]「O を突き出す」
feature「特徴」
develop「～を開発する」
method「方法」
〈第4段落〉
transport「～を運ぶ」
hive「ミツバチの巣(箱)」
container「容器」
refrigerate「～を冷蔵する」
handle「～を扱う」
body temperature「体温」
drop「低下する」
rest period「休息時間」
get accustomed to「～に慣れる」
condition「状況, 条件」
technician「技術者」
dip「～を浸す」
tip「先, 先端」
cotton swab「綿棒」
in response to「～に反応して」
move on to「～に進む」

〈第5段落〉
based on「～に基づいて」
Pavlovian response「パブロフ反射」
otherwise known as「別名～として知られている」
conditional reflex「条件反射」
discover「～を発見する」
physiologist「生理学者」
unrelated「無関係の」
stimulus「刺激」
associate A with B「A を B と関連づける」
produce「～を作り出す[生み出す]」
reward「褒美」
process「プロセス, 過程」
voluntarily「自発的に」
〈第6段落〉
make use of「～を活用する」
ability「能力」
portable device「持ち運び可能な装置」
be designed to do「～するように設計されている」
flow「流れる」
monitor「～を観察する」
built-in camera「内蔵カメラ」
conduct「～を実施する」
field test「実地試験」
useful「有用な, 役に立つ」
real-life「現実の, 実際の」
carry out O [carry O out]「O を実行する」
sidewalk「歩道」
hide「～を隠す」
respond to「～に反応する」
parking lot「駐車場」
react to「～に反応する」
loaded with「～を積んだ」
dynamite「ダイナマイト」
delighted「喜んでいる」
result「結果」
prove「～を証明する」
outdoors「屋外で」
various「さまざまな」
exist「存在する」
〈第7段落〉
currently「現在, 目下」
further「さらなる, 追加的な」
investigation「研究, 調査」
yet to do「まだ～していない」
solve「～を解決する」
fix「～を固定する」
last「持ちこたえる」

confined「閉じ込められた」
 stressful「ストレスの多い」
 necessary「必要な、必須の」
 comfortable「快適な」
 furthermore「さらに」
 reveal「～を明らかにする」
 be suitable for「～に適している」
 protein「タンパク質」
 smart「賢い」
 improve「～を向上させる[改善する]」
 insect「昆虫」
 fascinating「魅力的な」
 ignore「～を無視する」
 inexpensive「安価な、安い」
 keep on *doing*「～し続ける」
 (スライド)
 function「機能する」
 extend「伸びる」
 procedure「手順、進行」
 cool「～を冷やす」
 solution「解決策」
 (設問)
 complete「～を完成させる」
 collect「～を集める」
 seed「種」
 enemy「敵」
 attack「～を攻撃する」
 sensor「センサー、感知装置」
 get used to「～に慣れる」
 roadside「沿道、路傍」
 vehicle「車、乗り物」
 demonstrate「行動で示す、実証する」

▶ 全文訳

あなたは国際的なニュース記事を利用して、英語の口頭発表コンテストに参加することになっています。発表講演に備えて、次のアメリカからのニュース記事を読みなさい。

優れた嗅覚で爆発物を発見する警察犬のことはよく知られている。しかし、爆弾を発見するように訓練できる動物は犬だけではない。アメリカのロスアラモス国立研究所の研究者たちは、その仕事ができる、もう1つ、もっと小さな生き物を発見した。ミツバチである。

ミツバチのコロニーには3万匹のミツバチが生息しており、そのうちの約4分の1が1日中、食べ物や花

粉を探している。ミツバチの触角には何千もの感覚細胞がある。これは犬の鼻の感度に等しい。その優れた嗅覚で、自分のコロニーを識別したり、似たような色や香りを持つたくさんの花の中から特定の種類の花を見つけ出したりすることができる。

ロスアラモスの研究者たちは、触角のほかに、ミツバチの舌にも注目した。ミツバチの舌は食べ物を取るときに使われる。ミツバチは食べ物に近づくと舌を出す。これらのミツバチの特徴を利用して、研究者たちはミツバチに爆発物を探知させるための訓練方法を開発した。

訓練はまず、巣箱から研究室にある容器にハチを移すことから始まる。その後、ミツバチを扱いやすくするために容器を冷蔵する。ミツバチは体温が下がると動きが鈍くなるからだ。その後、ミツバチを一匹ずつごく小さなチューブに入れる。その状況に慣れるために、ハチには30分間の休息時間が与えられる。次に、研究室の技術者が綿棒の先を砂糖水に浸し、それをハチの触角に近づける。砂糖水に反応して舌を出したハチが次の段階に進む。

ここで、研究者たちはバプロフ反射(別名条件反射として知られる)を利用した訓練方法を採用した。この方法は、ロシアの生理学者バプロフが発見したもので、無関係な刺激を食べ物と関連づけることで動物に反射運動を起こさせることができることを示したものである。ロスアラモスの研究者たちは、ミツバチに爆発物の匂いを6秒間嗅がせ、最後の3秒間に砂糖水の褒美を与えた。このプロセスを4回繰り返すと、何匹かのハチは爆発物の匂いと甘い褒美を結びつけるようになる。こうして、爆発物の匂いを嗅ぐと、自発的に爆発物に向かって舌を出すようになるのだ。

ロスアラモスの研究者たちは、ハチの能力を活用するために、訓練されたハチを保持する持ち運び可能な装置を開発した。この装置は、内部に空気を取り込み、ハチの上に空気が流れるように設計されている。それぞれのミツバチの反応は、内蔵カメラを通して観察できる。この装置を使って、研究者たちは、ミツバチの探知能力が実際の状況で役立つかどうかを確認するための実地試験を行った。実地試験は3つの状況で行われた。まず、歩道に置いた爆発物を詰めた箱の近くにミツバチを配置した。すると、すべてのハチが舌を出した。次に、上着に爆薬を隠した男性の近くにハチを置いたところ、匂いに反応して舌を出した。最後に駐車場でテストをしたところ、ハチはダイナマイトを積んだトラックに反応した。研究室内だけでなく、さまざまなほかの匂いが存在する屋外でも、訓練されたハチが爆発物を検知できることが証明されたのだか

ら、研究者たちは大喜びだった。

現在、ロスアラモスの研究者たちはさらなる研究に取り組んでいる。ミツバチを訓練するには解決されていないいくつかの問題がある。例えば、閉じ込められていることはハチにとってストレスになるので、チューブに固定されたミツバチは2日間しかもたない。だから、ハチにとって快適な訓練条件を整える必要がある。さらに、すべてのハチが爆発物の検知に適しているわけではないことも明らかになっている。研究者たちは、ミツバチの能力を向上させる方法を見つけるために、より賢いミツバチのタンパク質を研究している。匂いに対するこの昆虫の感度の高さは、無視できないほど魅力的なのだ。また、ミツバチは飼育コストが低く、訓練もしやすい。これらは、研究を続けるのに十分な理由である。

あなたのプレゼンテーションスライド

30 マウント・モリス高校 英語プレゼンコンテスト	ミツバチの特徴 触角： ・犬の鼻のように機能する。 ・31。 舌： ・食べ物を取るために使われる。 ・食べ物に反応して伸びる。
訓練の流れ ハチは： 冷やされる。 32 33 34 35 このプロセスを数回繰り返す。 ハチは爆発物に反応する。	実地試験 訓練を受けたハチ： ・持ち運び可能な装置に入れられる。 ・以下の中のもの爆発物を検知した： - 歩道に置かれている箱。 - 36。 - 37。
さらなる研究 問題点 ・ハチは38。 ・すべてのハチが爆発物に反応するわけではない。 解決策 ・ハチの訓練条件を改善すべきである。 ・検知が得意なハチについてさらなる研究が必要である。	

第6問 論理的な文章の読み取り

▶ 出題のねらい

A、Bともに論理的な文章を読み、必要な情報を整理しながら、文章の概要・要点や論理的展開を把握する力、要約する力を問う。

A

▶ 解説

問1 39 ①

「ポスターの39に最適な選択肢を選びなさい」

- ① ジャングルで狩りをする際のより良いコミュニケーション
- ② 動物を狩るのに適した場所を見つけること
- ③ 山の中で鳥と会話すること
- ④ 自然や神々に敬意を払うこと

ジンルワイ・イアウベイが使われるようになった経緯や目的などの古い時代の説明は主に第4段落第1～4文で述べられている。目的としては、狩りの際に名前の代わりに歌を使うことで悪霊がついてこないと信じられていたこと(第3文)、また、集団で狩りをする際は叫ぶよりも歌のほうがよく聞こえるため、有効なコミュニケーション手段だと考えられていたこと(第4文)が挙げられている。前者はポスターに示されていることから、後者の内容を言い換えた①が正解。

問2 40 ④

「ポスターの40に最適な選択肢を選びなさい」

- ① 電話でもっと簡単にコミュニケーションをとること
- ② 狩りをもっと楽しくすること
- ③ 現代技術の促進
- ④ 他者と自分の感情を共有すること

ジンルワイ・イアウベイの現在の状況については本文の各所で述べられているが、空所に入るのは現在におけるジンルワイ・イアウベイを使う目的である。第4段落第5文後半に「自分の感じていることを他者に示すために」とあり、これと同じ意味の④が正解。

問3 41 ④

「ポスターの41に最適な選択肢を選びなさい」

- ① 若者の村離れを引き起こした
- ② 村人の間に経済的格差を生じさせた
- ③ 村の自然環境を破壊した
- ④ その土地の風習がなくなるのを防いだ

newborn「生まれたばかりの」
*Bollywood「ボリウッド, インド映画産業」
be reluctant to *do*「～しながらない」
formal「正式な」
circumstance「状況, 事情」
fear「～を心配する[恐れる]」
be optimistic about「～について楽観的である」
outlook「前途, 将来の見通し」
custom「風習, 慣習」
〈第6段落〉
appear「登場する, 出現する」
media「メディア」
worldwide「世界中に」
tradition「伝統」; traditional「伝統的な」
attract「～を呼び寄せる[引きつける]」
tourist「観光客」; tourism「観光業」
economic wealth「経済的富」
in turn「結果として, 今度は」
lead O to *do*「Oを～するように誘導する」
consider「～と考える」
(be) worthy of「～に値する」
maintain「維持する」
run「～を運営[経営]する」
guest house「民宿, ゲストハウス」
bamboo「竹」
〈第7段落〉
nearby「近くの」
pass on A to B「AをBに伝える[つなぐ]」
elsewhere「ほかの場所に」
in the form of「～の形で」
identity「アイデンティティ, 固有性」
(図表)
(be) located in「～に位置する」
(be) covered with「～に覆われて」
receive「～を受け取る」
at birth「生まれたときに」
over time「時間とともに, 時が経つにつれて」
purpose「目的」
keep O away [away O]「Oを近づけない」
(be) derived from「～から生じる, ～に由来する」
prefer「～のほうを好む」
influence「影響」
media coverage「マスコミ報道」
attention「注意, 注目」
summary「要旨, 要約」
interact with「～と交流する」
(設問)
option「選択肢」

conversation「会話」
respect「敬意, 尊敬」
increase「～を増やす[高める]」
pleasure「楽しみ, 喜び」
promotion「促進」
emotion「感情」
cause O to *do*「Oに～させる」
economic gap「経済格差」
destroy「～を破壊する」
natural environment「自然環境」
prevent O from *doing*「Oが～するのを防ぐ」
root「ルーツ, 根」
rural「田舎の」
spread to「～に広がる」
introduce「～を取り入れる[導入する]」
ancient times「古代」
no longer「もはや～ない」
exist「存在する」

▶ 全文訳

あなたは、世界の独特な文化についての授業課題に取り組んでおり、次のような記事を見つけました。それを読み、わかったことをクラスメートに発表するためのポスターを作成しています。

コンソン村：メロディあふれるインドの村

インドのコンソン村では、あちこちから鳥の鳴き声のようなものが聞こえてくる。しかし、それは鳥ではない。人の声である。この村では、人々は歌を歌うことでコミュニケーションをとっている。例えば、母親が外で遊んでいる子供をメロディで呼ぶ。

コンソン村に赤ん坊が生まれると、母親はメロディを作り、それを赤ん坊の名前にする。メロディはそれぞれが唯一無二のもので、持ち主が死んでも同じものが使われることはない。もちろん、村人たちには書き記される正式な名前があるが、日常生活の中ではあまり使われることはない。だからこそ、コンソン村はメロディあふれる場所なのだ。コンソン村に住む人々はカシ族という民族に属している。カシ族の言葉では、1人1人のメロディを「ジンルワイ・イアウベイ」と呼び、これは「母の歌」を意味する。カシ族は、ほかの村から花嫁を迎えるとき、花婿の母親が花嫁にメロディを贈る。

カシ族は、バングラデシュとの国境に近い北東部のメガラヤ州の熱帯ジャングルに住んでいる。コンソン村は、人口約700人の小さな地域である。コンソン村

は長い間、外界から隔離されてきた。一番近い町から山の中を村まで歩いて数時間かかる。ほとんどの家は木材でできており、波形のトタン屋根がついている。村人は主に、ジャングルに生い茂る「ほうき草」を売って収入を得ている。

ジンルワイ・イアウベイは何世代にもわたって存続している。地元の人々によると、狩猟者がジャングルの中でお互いの位置を確認するための手段として始まったという。お互いの名前を叫ぶのではなく、歌うことで悪霊がついてこないと思われていた。また、大声で叫ぶよりも歌のほうが遠くまで聞こえるため、集団で狩りをする際のコミュニケーション手段としても有効だと考えられていた。現在は、ジンルワイ・イアウベイはお互いを呼ぶためだけでなく、自分の感じていることを他者に示すためにも使われている。例えば、誰かに腹を立てているときは、激しい口調で歌うこともある。

2000年、コンソン村に電気が通った。それ以来、テレビや携帯電話などの現代技術によって、ジンルワイ・イアウベイは少しずつ変化している。以前は、母親たちは身近な自然の音からインスピレーションを得てメロディを作っていた。しかし今では、生まれたばかりの赤ん坊のためのメロディは、「ハリウッド映画」の歌から作られることが多い。また、若者たちは、何か言いたいことがあっても、友達の名前を歌で呼ぶことをしたがる。正式な名前を使って電話をかけたほうが、はるかに簡単で早いのだ。このような状況の中、昔の世代の人々はジンルワイ・イアウベイが失われるのではないかと心配しているが、一方でこの風習の先行きを楽観視している人もいる。

コンソン村がメディアに登場して以来、その独特な伝統が世界的に知られるようになり、世界中の観光客を引きつけているのだ。観光によって村に経済的な豊かさがもたらされたことで、村人たちはかえってこの風習を維持する価値があると考えられるようになった。現在、村はゲストハウスを運営し、観光客に竹でできたカシ族の伝統的な家2軒を提供している。

村人たちは、コンソン村を離れて近くの都市で働くようになっていても、そのメロディを忘れることはない。母親たちは、自分たちがほかの場所に移っても、ジンルワイ・イアウベイの慣習を子供たちに伝えようと努力している。カシ族にとって、ジンルワイ・イアウベイは単に歌という形を持つ名前ではなく、彼らのアイデンティティであり、生活の重要な一部なのだ。

コンソン村：メロディあふれるインドの村

コンソン村について

- ・インドの北東部に位置する
- ・ジャングルで覆われた熱帯の小さな地域
- ・約700人のカシ族の人々が住む

ジンルワイ・イアウベイ—母の歌—

コンソン村の独特な風習

- ・誰もが生まれたときに母親から1人1人異なるメロディをもらう。
- ・それぞれのメロディは唯一無二であり、その人の一生の名前となる。
- ・書き記される公式の名前は、日常生活ではあまり頻繁に使われない。

ジンルワイ・イアウベイの時間と共に起きた変化

昔	最近
・自然の音から発想を得たメロディ	・映画音楽に由来するメロディ
・ 39 を目的とする	・ 40 を目的とする
・悪霊を近づけないと思われていた	・友達と話す際、若者には好まれない

メディア報道の影響

- ・コンソン村は人々のメロディで有名になった。
- ・観光業が村に経済的な豊かさをもたらした。
- ・世界からの注目が**41**。

まとめ

- ・ジンルワイ・イアウベイは**42**。
- ・カシ族の人々は互いに交流するためにメロディを使う。

B

▶ 解説

問1 **43** ④

「ポスターの最初の見出しの下で、あなたのグループは、文章で説明されているような印刷された書籍の特徴を示したいと考えている。次のうち、適切でないものはどれか」

- ① A. 触ることができる
- ② B. 室内装飾に使うことができる
- ③ C. 紙とインクの匂いを発する
- ④ D. 手頃な価格で売られている
- ⑤ E. 質の高いイラストを含むことができる

印刷された書籍の特徴は、第1段落第4～7文に列挙されている。①(A)本の手触りについては第4文に、②(B)本が室内装飾に使えることについては第5文に、③(C)紙とインクの匂いがすることについては第6文に、⑤(E)大判の本などには質の高いイラストがあることについては第7文に、それぞれ記述がある。④(D)価格についての記述は本文全体を通しても存在しないことから、正解は④である。

問2 44 ②

「あなたは、ポスターの2つ目の見出しを書くように依頼された。次のうち、最も適したものはどれか」

- ① 本には何種類の化学物質が使われているのか
- ② 本の匂いの原因は何か
- ③ どこで、どのように本は読まれるのか
- ④ 図書館員はなぜ化学を学ぶのか

2つ目の見出しの下には、新しい本と古い本それぞれの匂いの特徴を比較する表がある。第2段落第1文に「新旧を問わず、本がなぜ特定の匂いを発するのかを理解するには、化学が必要である」と述べられた上で、同段落の第2文以降で新しい本の匂いについて、続く第3段落で古い本の匂いについて、それぞれの匂いの原因について説明されている。よって正解は②。③については、本文中に言及は全く不適切。

問3 45 ①

「ポスターの2つ目の見出しの下で、あなたのグループは、新しい本の匂いと古い本の匂いを比較したいと考えている。表を完成させるのに最も適切なのは次のうちどれか」

- ① 本の匂いは、本の古さによっても異なる。
- ② どの本もアーモンドやチョコレート^{のり}の匂いがする。
- ③ 古い本に使われている糊は、人工的な物質を含む。
- ④ VOCは、光や熱、湿度に反応して有機物を生成する。

古い本の匂いの原因については、第3段落を参照する。本の匂いの発生要因であるVOC(揮発性有機化合物)について、第7文に「古い本に含まれるVOCの量は、その本が作られた時期によっても異なる」とあり、これをおおまかに言い換えた①が正解。②については、同段落第4文に「一般的に古い本は、アーモンドやチョコレートのような香りがする」とあるため、選択肢の「どの本も」の部分が誤り。③については、新しい本について書かれた第2段落第6文の「製本用の糊は、昔とは違って、天然の糊ではなく、人工的な物質から作られている」という記述から、昔は天然の糊を使っていたと判断できることから不適切。④につい

ては、第3段落第1・2文に「古い本の場合は、紙に含まれるセルロースやリグニンなどの有機物が化学分解を起こすことで匂いが発生する。これらの物質は、光や熱、湿度に反応して、徐々にVOCを放出する」とあり、選択肢の内容と矛盾することから不適切。

問4 46 ①

「あなたは、この文章で言及されている2020年のデータを示すグラフを探している。次のグラフのうち、あなたたちのポスターに最も適したものはどれか」

第4段落第3文の「例えば、米国では、全人口の33パーセントの人が電子書籍を購入している一方、45パーセントの人がお金を出して印刷された書籍を購入したと推定されている」という記述に合致するグラフは①と③である。さらに、続く第4文に「この傾向は特にドイツで強く、電子書籍を購入したのはわずか10パーセントで、紙の書籍を購入したのは58パーセントだった」とあることから、正解は①である。なお④は、オーストラリアとフランスにおいて、印刷された書籍よりも電子書籍の割合が高くなっており、同段落第5文の「調査した5つの国すべてにおいて、電子書籍の売り上げは印刷された書籍の売り上げを下回っている」という記述と矛盾することから不適切。

問5 47 ①

「あなたは、ポスターの最後の見出しの下で、文章に基づいて人々の本に対する好みについて説明したいと考えています。ポスターの47に最も適したものは次のうちどれか」

- ① 自分たちのライフスタイルによりぴったりの
- ② よりよい匂いがする
- ③ 長く使える
- ④ ほかの人が持っていない

第6段落第1文に、「印刷された書籍と電子書籍にはそれぞれ特徴があり、人々は自分にとってより便利で、日常生活に最も適した本を選ぶ」とあり、これを言い換えた①が正解。

▶ 語句 *は参考語句

(リード文)

presentation「プレゼンテーション、発表」

school festival「学園祭」

theme「テーマ、題材」

preference「好み」

printed book「印刷された書籍」

following「次の、後に続く」

passage「文章の一節」

〈第1段落〉

in recent years「近年は」
 spread「広がること、普及」
 e-reader「電子書籍端末」
 predict「～を予想する」
 go out of date「廃れる、時代遅れになる」
 touch「感触、手触り」
 design「デザイン」
 cover「表紙」
 jacket「(本の)カバー」
 arrange「～をきちんと並べる」
 breathe in「～を吸い込む」
 smell「匂い」
 admire「～を称賛する」
 illustration「絵、イラストレーション」
 large-sized「大判の」
 pop-up book「飛び出す本」
 three-dimensional「3次元の、立体的な」
 merit「長所、利点」
 be likely to *do*「～する可能性が高い」
 provide「～を提供する」
 note that SV「～することを覚えておく、～すること
 に注意する」
 A as well as B「BだけでなくAも」
 texture「手触り、質感」
 be associated with「～と関連している、～を連想さ
 せる」

〈第2段落〉

whether A or B「AであろうとBであろうと」
 emit「～を放つ」
 certain「とある、特定の」
 chemistry「化学」
 chemical「化学物質」
 cause「～を引き起こす」
 *volatile organic compound「揮発性有機化合物」
 in the case of「～について言えば」
 newly published「新刊の」
 source「もと、源」
 paste「(接着用の)糊」
 bind「～を製本する」
 mainly「主に」
 *pulp「パルプ(紙の原料)」
 a variety of「さまざまな～」
 produce「～を作り出す」
 a large amount of「多量の～」
 process「製造過程」
 unlike「～とは違って」
 artificial「人工の」

substance「物質」
 release「～を放出する」
 vary「変わる、異なる」
 〈第3段落〉
 due to「～が原因で」
 chemical breakdown「化学分解」
 organic material「有機物質」
 *cellulose「セルロース」
 *lignin「リグニン、木質素」
 react with「～と反応する」
 humidity「湿気、湿度」
 gradually「徐々に」
 mix with「～と溶け合う」
 contribute to「～の一因となる」
 generally「一般的に」
 almond「アーモンド」
 chocolate「チョコレート」
 form「～を形成する」
 outer wall「外壁」
 plant cell「植物細胞」
 partly「部分的に」
 depend on「～によって決まる」
 contain「～を含む」
 modern「現代の」
 store「～を保管する」
 librarian「図書館員、司書」
 estimate「～を見積もる[推定する]」
 possible「可能な」
 go on「続く」
 over time「長い時間をかけて」

〈第4段落〉

purchase「購入」
 according to「～によると」
 remain「依然として～のままである」
 population「人口」
 tendency「傾向」
 particularly「特に」
 survey「～を調査する」
 fall behind「遅れをとる」

〈第5段落〉

advantage over「～と比べて優れている点」
 go on a trip「旅行に行く」
 step out to「～に出かける」
 hundreds of「何百もの～」
 single「たった1つの」
 device「機器」
 bookshelf「本棚」
 last「持ちこたえる」

eventually「いずれは」
fragile「もろい、壊れやすい」
handle「～を扱う」
dry up「すっかり乾く」
〈第6段落〉
characteristic「特徴」
choose「～を選ぶ」
convenient「便利な」
accompany「～に同伴する」
actually「実際は」
prefer to do「～することを好む」
own「～を所有する」
rather than「～よりはむしろ」
(ポスター)
interior decoration「室内装飾」
reasonable price「手頃な価格」
storage period「保存期間」
factor「要因」
affect「～に影響を及ぼす」
figure「図」
prospect「展望、将来の見通し」
despite「～にもかかわらず」
disadvantage「欠点」
popularity「人気」
(設問)
heading「見出し、表題」
explain「～を説明する」
appropriate「適切な」
compare「～を比較する」
complete「～を完成させる」
table「表」
graph「グラフ」
refer「～に言及する」
describe「～を説明する」

▶ 全文訳

あなたは学園祭でポスター発表をすることになっています。あなたのグループのテーマは「印刷された書籍への愛着」です。あなたはポスターを作成するために次の文章を使っています。

なぜ印刷された書籍なのか？

近年、スマートフォンやタブレット端末、電子書籍端末の普及に伴い、多くの人が印刷された書籍はすぐに時代遅れになるだろうと予想していた。しかし、印刷された書籍は今でも多くの読者から人気がある。な

ぜなのだろうか。紙の本の手触りが好きで、ページをめくると幸せな気分になる人がいる。また、本の表紙やカバーの美しいデザインが好きで、部屋に並べて楽しむ人もいる。本の紙とインクの匂いを嗅ぐのが好きな人もいる。また、大判の本のイラストの質の高さや、ページが立体的になっている飛び出す本が大好きな人もいる。これらのメリットはいずれも、電子書籍では得られないものだろう。興味深いのは、質感やデザインだけでなく、匂いも印刷された書籍への愛着と関連していることだ。では、本の匂いはどこから来るのだろうか。

新旧を問わず、本がなぜ特定の匂いを発するのかを理解するには、化学が必要である。匂いの原因となる化学物質は、揮発性有機化合物(VOC)と呼ばれている。新刊本の場合は、主に紙そのもの、印刷用インク、製本用糊の3つから匂いが発生する。紙は主にパルプを原料とし、さまざまな化学物質を使って作られる。インクを作るためには、製造過程で大量の石油が使われる。また、製本用の糊は、昔とは違って、天然の糊ではなく、人工的な物質から作られている。これらの化学物質の中には、それ自体には匂いが無いものもあるが、VOCを大気中に放出する手助けをすることもある。本の製造にはさまざまな化学物質が使われているため、本から発せられる匂い、つまりVOCは本によって異なる。

古い本の場合は、紙に含まれるセルロースやリグニンなどの有機物が化学分解を起こすことで匂いが発生する。これらの物質は、光や熱、湿度に反応して、徐々にVOCを放出する。古い本の匂いは、このVOCがいろいろと混ざり合って、一緒になって発生しているのである。一般的に古い本は、アーモンドやチョコレートのような香りがする。セルロースは植物の細胞の外壁を形成する物質である。リグニンは植物を木のように硬くする。古い本に含まれるVOCの量は、その本が作られた時期によっても異なる。例えば、非常に古い本は現代の本よりもリグニンを多く含んでいる。また、その本がどこで、どのように、どのくらいの期間保管されていたかによっても、匂いは変わってくる。図書館員は、VOCを嗅ぐことでその本の古さを推定できると言われている。これが可能なのは、化学物質の分解がゆっくり時間をかけて進むにつれて、より多くのVOCが放出されているからである。

電子書籍と印刷された書籍の購入に関するデータからも、印刷された書籍が好まれていることがわかる。2020年のデータによると、印刷された書籍は依然として人気がある。例えば、米国では、全人口の33

パーセントの人が電子書籍を購入している一方、45パーセントの人がお金を出して印刷された書籍を購入したと推定されている。この傾向は特にドイツで強く、電子書籍を購入したのはわずか10パーセントで、紙の書籍を購入したのは58パーセントだった。調査した5つの国すべてにおいて、電子書籍の売上は印刷された書籍の売上を下回っている。

もちろん、電子書籍には印刷された書籍よりも明らかに優れた点がある。旅行に行くときや、コーヒESHOPに出かけるときには、印刷された書籍よりも電子書籍のほうが持ち運びが簡単だ。何百冊もの電子書籍を1台の端末に収納できるので、大きな本棚を置くスペースも必要ない。電子書籍は紙の書籍よりもずっと長持ちするかもしれない。印刷された書籍は、ページが黄ばんで破れやすくなったり、綴じ糊が乾燥したりと、いずれは扱いにくくなる。

印刷された書籍と電子書籍にはそれぞれ特徴があり、人々は自分にとってより便利で、日常生活に最も適した本を選ぶ。それは、ある人にとっては印刷された書籍であり、ある人にとっては電子書籍なのだ。実際、ただ使うだけでなく、所有することを好む読者も少なからずいるのだ。

プレゼンテーション用ポスター：

印刷された書籍への愛着

1. 印刷された書籍の特徴

- A. 触ることができる
- B. 室内装飾に使うことができる
- C. 紙とインクの匂いを発する
- D. 手頃な価格で売られている
- E. 質の高いイラストを含むことができる

2. 44

新しい本	古い本
・匂いは紙、インク、糊から発生する。 ・糊は人工的な物質から作られる。 ・本の匂いはどんな化学物質が使われているかによって異なる。	・匂いは紙での化学分解から発生する。 ・ 45 ・保管期間と状況もまた匂いに影響を及ぼす要因の1つである。

3. 2020年のデータ

46

(図は省略)

図1. 電子書籍と印刷された書籍を購入した人口の割合

4. 展望

- ・いくつかの欠点はあるものの、印刷された書籍は人気を失うことはない。
- ・読者は 47 本を選ぶ。